砂川市少年の主張大会
主張全文紹介③

「人に褒められると」

砂川中学校３年　三浦　りの

私は吹奏楽部に入っており、これまでにたくさんのイベントで演奏をしてきました。私の両親は毎回演奏を聴きに来てくれて、いつも「かっこよかったよ。成長してるね。」と、たくさん褒めてくれます。私は毎回毎回褒めてくれることがすごく嬉しいです。

さて、褒められて嫌な気持ちになる人はいるのでしょうか。私はいないと思います。なぜなら、褒めることにはメリットしかないからです。

まず、人は褒められることによって、自分の良いところを発見することができます。自分がマイナスだと思っていたことが、褒められることによってプラスに変わり、自分に自信を持てるようになることがあります。自分の良いところを再認識できるきっかけにもなります。さらに、ほとんどの人は「自分を認めてほしい」という気持ちがあると思います。その気持ちは、褒められることによって満たされる場合が多いです。自分の認めてほしいところを認めてもらうことで、その気持ちが刺激されて、もっと認められたいというモチベーションが高まっていき、次の行動を起こしやすくなります。

他にも、互いに褒めたり褒められたりすることで、良い人間関係を築くことができます。人は褒められると「褒めてもらえた！」という喜びや安らぎが生まれ、褒めてくれた相手に対する信頼感が自然と高まるそうです。みなさんも嫌なことを言う人よりも、褒めてくれる人の方が「関わりたい」と思えるでしょう。

しかし、ただ褒めるだけがいいこととは限りません。その言葉が相手にとって嬉しいものなのかを考えなければいけないのです。例えば、本当はかっこいいと思われたいのに、周りからは可愛いとしか言われない人がいたとします。周りの人は褒めているつもりですが、この場合だと「可愛い」は褒め言葉ではなく、相手を傷つけるワードになってしまっています。よって、人を褒めるときはまず、相手を知ることが大切なのです。

また、褒め方にも気をつけなければなりません。例えば、人と人を比べて褒めることは良いことではありません。これは、褒められた人も比べられた人もいい気持ちになりません。それ以外にも、褒めた後に「でも、だけど」などと、褒めた内容を否定するような言い方をしてしまうと、逆に嫌味のように受け取られてしまいます。

これらのことから、褒められることはなぜ嬉しくなることなのか、その決定的理由はやっぱり、「相手が自分に興味を持ち、自分の良いところを探し、見つけてくれて、さらにはそれを相手が言葉で表してプレゼントしてくれる」この一連の行為自体に当たると私は考えます。たとえその褒め言葉が本心じゃなくても、自分に興味を持ってもらえることが一番嬉しく感じるのです。

人は褒められると前向きな気持ちになり、自信が持てるようになったり、心が満たされたりするけれど、褒め方によっては相手を傷つけてしまうかもしれないことが分かりました。私は、人の悪い所ではなく良い所を探して、相手の気持ちを考えながら、たくさん人を褒めようと思いました。そして、私自身もたくさん褒められるような人になりたいです。

あいさつは　笑顔になれる　エネルギー　砂川中学校　玉川陽菜さん